|  |
| --- |
| 名寄市職労青年部  VOL．８　　2015年　3月13日 |
|  |
| ２月２８日・３月１日の２日間、札幌市で２０１５自治労北海道本部青年部座長養成講座が開催され、５０単組総支部７８人の仲間が結集し、学習・交流を行いました。（名寄市職労からは、仁尾書記長・中村書記次長・日野幹事・堂前上川地本青年部長が参加）  両日とも、各分散会ごとに資料を使った学習と自分たちの職場状況の話し合いを行いました。その中で、大きく３つのことについて討論を行いました。  日々の業務量が増加する中で、「自分の業務を何とかすることが精いっぱいで、業務量や職場環境に対してオカシイと思えなくなってしまっている」「サービス超勤が当たり前になってしまい、帰宅も遅くなり、手当も支給されていないため奥さんにも怒られている」といった不満・不安の声が上がりました。  その中で、まずは愚痴や雑談でもいいので、職場の仲間と話し合い、同じ思いを共有しながら、職場環境の改善に向けて一歩ずつ頑張ろうと確認しました。 |
| 評価制度が既に実施されている仲間の話を聞くと、｢透明性や納得性がなく、職場の仲間とぎくしゃくしている｣「上司の顔色を窺う職員が増え、業務効率が低下している」「当局が実施を後悔していると聞いた」などの多くの問題点が指摘されました。  今後、私たちの職場にも大きな影響を与える制度なので、制度の本質を考える必要があります。    集まった仲間からは、「何とか足らしている状況」「食費を削って生活している」「日々の生活が精いっぱいで、将来が不安」など切実な声が聞かれました。  DSC_0048.JPG  **☝分散会の様子** |
| IMG_6106.jpg  **☝仁尾書記長の報告**  分散会報告では各分散会の中から仁尾書記長が、｢まずは部員一人ひとりの声を直接聞き、何を求めているのかという本音を理解していくことが重要である｣との報告がありました。  　分散会報告後、佐藤道本部青年部書記長から、「人事評価制度が実施されることで、本当に自分の職場環境が改善されるか考えてほしい。また、困っている仲間を助け合いながら各単組での運動を進めてほしい」と集約がありました。  最後に、斉藤道本部青年部長から、「職場で働く仲間の声や思いを、７月１０日からせたな町で開催される自治労北海道青年部夏期交流集会に結集しよう！」とまとめがあり、団結ガンバローで集会が終了しました。 |